2013 年 12 月 2 日 SS 部決起大会開催

燃料油脂新聞 12 月 5 日掲載記事

12月油外チャレンジ決起大会

東和興産 川崎大師で成就祈願

出席者全員で目標必達を祈願

東和興産（中原光弘＝本社荒川区東日暮里・林部社長）は二日、毎年恒例の川崎大師で十二月油外チャレンジの目標達成を祈願する二〇一三年決起大会を開いた。

林社長はじめ西本知志執行役員、上原茂部長代理マネージャー、プレステージ三ノ輪（荒川区南千住）、プレステージ大森（大田区大森中）、天王洲（品川区東品川）、三角町（千葉市花見川区）、国鮮（群馬県太田市）の五カ所からマネージャーなどSS部員、来賓の出光興産販売部関東第一販売支店の平野一郎支店長、鈴木友純担当、アポロリテイリング南関東営業所の綱島義夫所長、戸井田光司担当らが夜明け間に川崎大師に集合。

決起大会は最初に林社長が「今回の十二月油外チャレンジは十回目となるが、昨年は全体目標が未達だったため、新たにチャレンジする気持ちで、少数も多く目標を達成しよう」とあいさつ。

決意表明では三ノ輪六百万円、大森六百万円、天王洲三百万円、三角町百五十万円、国鮮百八十万円の油外収益目標を盛り込んだ抱負を各SSマネージャーやサブマネージャーが述べ上げ、林社長に手渡した。最後に上級指マネージャーが「SS部全体の目標、千八百三十万円は必ず達成しますと決意を述べた。

来賓あいさつでは平野支店長が「日頃の人間、サービス、冒頭ラインアップがお客に満足していただけているのかを再確認し、満足してもらえる職場をつくり、目標に向かって頑張ろう。出光も十月からセアロオイルのラインアップの充実を図るなどバックアップに努める」。綱島所長は「十回目という記念すべき油外チャレンジ。目標必達に向け、われわれも一丸となりサポートさせていただく。お客のため、そして収益拡大に向け頑張ろう」と激励した。

本番で行われた乾杯の音頭は、戸井田光司担当が「目標必達」を祈願し、SSマネージャーらは、心身ともにリフレッシュし、十二月油外チャレンジの目標必達を誓った。（東京）